

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2022年5月6日

NPO法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 チームSou
代表者名 石上 一美

住所
電話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	若者と一緒に考えよう！恵庭の未来2		
協働事業費の総額	101,000円	補助金交付申請額	100,000円
事業実施団体数	<input checked="" type="radio"/> 単独 <input type="radio"/> 複数 (団体数)	本事業での提案回数	1回目
協働する担当課	議会事務局	担当者：吉川 けい子	(内線3211)
提案事業の内容	実施期間 2022年 5月 1日から 2022年10月 31日まで 政治とまちづくりについて 将来の恵庭を担っていく若者世代と一緒に、今の恵庭の現状を把握し、これから の恵庭に必要なことを学ぶため、施設見学、意見交換会を予定しています。 昨年度は恵庭市内のごみ処理場の見学とディスカッションを開催しましたが、第 2回の今年度は、議場見学、札幌市の若者の居場所を見学した後に、意見交換会 を開催します。 ・目的：若者に政治やまちづくりに关心を持ってもらう ・内容：北海道議会、恵庭市議会、札幌市の若者の居場所見学と意見交換会 ・日時：学生の休日を利用して10月、11月の土、日曜日を予定 調整中 1日目：施設見学 2日目：意見交換会 ・参加募集人数 若者・学生（高校生以上） 20名 ・参加費 無料 ・場所：施設見学…北海道議会、恵庭市議会、札幌市「Youth+」 意見交換会…えにあすを予定		
	☆施設の見学予定ルート 8:45 市役所出発 ↓ 10:00 北海道議会見学、昼食 13:00 出発 ↓		



	<p>13:15 札幌市若者総合支援センター「Youth」 14:30 出発 ↓ 15:30 恵庭市議会見学 16:00 終了</p> <p>・バスは大型バスを準備予定です。 コロナ感染拡大防止対策として、乗車人数を既定の半数に抑えて、参加募集いたします。</p> <p>・感染対策（消毒、マスクの着用、換気、ソーシャルディスタンス、名簿、検温など）しっかり行い実施いたします。</p>
提案事業の目的及び期待される効果	<p>この事業の目的は、若者と一緒に恵庭市の未来について考えることです。今年度は、若者に政治に関心をもってもらい、これから恵庭のまちづくりについて考えたいと思っています。</p> <p>2015年6月から公職選挙法が改正され、投票権の18歳への引き下げ（いわゆる「18歳選挙権」）が行われ、選挙年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、選挙権を有しても投票に行かない若者が多く、「若者の政治離れ」が問題となっています。総務省の発表では、令和3年10月に行われた第49回衆議院議員総選挙において、全年代を通じた投票率は55.93%なのに対し、10歳代が43.21%、20歳代が36.50%、30歳代が47.12%となっており、若年層の投票率は低い水準にとどまっていることからも、若年層への選挙啓発や主権者教育に取り組むことは急務であると考えられます。</p> <p>一方で、昨年7月にZ世代を対象に実施されたアンケート（SHIBUYA109のマーケティング部門が18歳から24歳までの男女400人を対象に実施）では、コロナ禍によって、若者の政治に対する意識に変化があり、コロナ禍で生活が激変し、政治をより身近に感じるようになったという結果が出ています。学生や就職したばかりの若者は、政治に何かを求めようと思う機会が少ないとありますが、「若者の政治離れ」は、若者の現状に目を向けた政策や情報発信に力を入れない政治にも問題があると思います。</p> <p>そこで、「若者が投票に行きたい仕組みづくり」をするとともに、なぜ政治が大切なのか、政治に関心を持つことで何が変わるのかなどを学び、さらに実際に、議員や市職員などと意見交換会をして議論を行うことで、政治やまちづくりへの関心を高めていくことが必要です。</p> <p>そのため、実際に施設を見学して自分が感じたこと、政治やまちづくりについて意見交換を行うとともに、卒業後も恵庭に住み続けたいまちに必要なことやものは？を若者と一緒に考えていくと思っています。</p>
提案事業の役割分担	<p>申請団体が担う役割 事業の企画・周知・準備・運営・バスの手配、調整など</p> <p>担当課が担う役割 事業の企画、周知、見学施設の調整、事業当日の準備・運営など</p> <p>連携団体が担う役割</p>
添付書類	<p>(1) 団体概要調書（様式第2号） (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書（様式第3号） (3) 規約、会う則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書</p>

様式第2号（第4条関係）

団体概要調書

団体名	(ふりがな) ちーむ そう チームSOU										
代表者氏名	(ふりがな) いしがみ かすみ 石上 一美										
事務所の所在地											
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方 <table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>(ふりがな) いしがみ かすみ 石上一美</td> <td>電話</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>FAX</td> <td></td> </tr> </table>			氏名	(ふりがな) いしがみ かすみ 石上一美	電話				FAX	
氏名	(ふりがな) いしがみ かすみ 石上一美	電話									
		FAX									
設立年月日	2015年 4月 1日	会員数	6名								
メールアドレス											
団体ホームページ	なし										
団体の目的	近年、コミュニケーション能力の不足、自制心や規範意識の希薄化が問題とされています。このような問題から、人の心の発達や道徳心を養ううえで多大な影響を及ぼし、様々な社会問題に発展していると考え、地域での子育ての重要性、ふれあいやコミュニケーションの大切さを老若男女問わず、様々な手法で伝える社会活動を目的とする。										
主な活動内容及び実績	2015年 9月～11月 子育てコーチング café 他2事業 2016年 笑！輪！！わっ！！！Fes他 2事業 2017年度 8月 笑！輪！！わっ！！！Fes、 7～9月 性の健康教育 からだの科学、他 1事業 2018年度 北海道いのちの電話と市民公開講座 2019年度 10.11.1月 パワーアップコミュニケーション～みんなでつくる Team 恵庭 2020年度 わかって安心こわくない オンラインゲームについて SDG's 地方創生 2021年度										

	若者と一緒に考えよう！恵庭の未来 ～省エネルギーとゴミ問題について～
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	<ul style="list-style-type: none">・有 [補助金等の名称：] [金額： 円]・無

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団体名	チーム Sou
協働事業の名称	若者と一緒に考えよう、恵庭の未来！2

1. 収入 (単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
補助金	100,000 円	まちづくりチャレ人事協働事業補助金
負担金	1,000 円	チーム Sou
合計	101,000 円	

2. 支出 (単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
バス代	53,900 円	北日本バス（見学予定ルートより算出）
消耗品	12,000 円	筆記用具、模造紙、ふせん、ネームシール、コロナ感染対策用品ほか
施設使用料	2,100 円	公共施設使用料（えにあす予定）、プロジェクター他
印刷費	33,000 円	チラシ、ポスター デザイン・印刷
合計	101,000 円	

備考) 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。